



地域子育て支援だより

2022年度 11月号 久宝まぶねこども園
TEL (072) 992-2033

落ち葉の色が赤や黄色、オレンジへと姿を変え、お散歩が一段と楽しい季節となりました。園児も深まる秋を感じながら、自然との触れ合いを味わっています。

急激に寒くなり、冬の訪れを感じる日もありますが、体力づくりを進め、冬も元気に過ごすことができるようにしましょう。

落ち着いてきたかと思えば、第8波との報道ニュースが流れるようになり、大阪でも感染者数が増えています。地域開放のプログラムは中止していますが、次年度の入園準備としての園見学は実施していますので、園見学を希望される方は園までお問い合わせください。

園庭開放・親子教室のご案内

※今後の感染状況により、再開が決まりましたら子育て支援だよりにてお知らせします。

※ホームページに子育て支援だよりや給食だより、献立表を掲載しています。



0.1.2歳の肌は……

汗かき

大人より体温が高めなため、冬でも意外に汗をかいています。汗をかいたらすぐにふくか、ぬるめのシャワーで流しましょう。

しっとりからかさかさに

生後3か月くらいまではホルモンの影響で皮脂が多く、それ以降は皮脂分泌が減ってかさかさになりがちです。

刺激に弱い

バリア機能が未熟なため、汗や食べこぼして荒れたり、おむつかぶれを起こしたりします。

室温や湿度を調整し、薄着とこまめなスキンケアで、お子さんの肌を守りましょう

冬のあせも・とびひに注意

あせもやとびひは夏だけではありません。最近は、厚着や暖房で体を温めすぎて、冬に出る子どもも増えています。床暖房の部屋に寝かせていたらあせもができた、という例もあります。冬の肌は寒さで血行がよくないため、湿しみが治りにくいといわれますので、早めに受診しましょう。

予防

- 厚着をさせない
- 室温の調節をこまめに
- 汗をかいたらふき、着替える
- 毎日入浴して肌を清潔に

小さい子は特に、背中にふれて汗をかいていないか、こまめにチェックしましょう